

次年度以降の検討項目（案）

「研修体系の見直し」、「有明の丘研修のリニューアル」、「地域研修の在り方・支援方策」、「災害対応 e ラーニングの運営」、「人的ネットワークの活性化」の検討を通じて新たに示された課題を含め、次の項目について次年度以降も引き続き検討する。

【次年度以降の検討項目】

1. 研修体系の見直し

研修体系は継続的に見直し、内容の充実を図る。研修体系の見直しと併せて、令和5年度版の研修指導要領(案)を作成するとともに、必要に応じてカリキュラムと標準テキストを見直す。

2. 有明の丘研修のリニューアル

有明の丘研修は、今年度の検討を踏まえて段階的なリニューアルを実施する。研修修了者の能力評価については、テスト及びテストバッテリーの見直しを検討する。また、研修の効果測定については、有明の丘研修修了者のうち被災自治体職員等を対象とした、災害対応等における研修効果の調査実施を検討する。

3. 地域研修の在り方・支援方策

地域研修については、今年度試行的に開催した地域検討会をより実効的なものとするため、実施体制や国による支援の在り方等について引き続き検討する。また、地域の自立した研修の実施に向けて、研修企画・運営に関するマニュアルやガイドラインの作成等、地域への研修ノウハウの提供方策について検討する。

4. 災害対応 e ラーニングの運営

今年度の検討及びコンテンツ公開・作成状況を踏まえ、公開済みテーマの維持管理・評価・改善を行う。また、地域研修や他機関が実施する研修におけるeラーニングの活用事例や効果を調査し、効果的なeラーニングの活用方法や周知方法について検討する。

5. 人的ネットワークの活性化

有明の丘研修等における受講者同士の人的ネットワーク構築の強化・充実に向けて、新型コロナウイルス感染症拡大防止等にも留意しつつ、対面研修の再開について検討する。また、これまでに有明の丘研修や地域研修、内閣府防災OJT研修等を通じて培われた人的ネットワークの維持・強化を図るため、研修修了者同士による人的交流促進の仕組みを検討する。